

CONTENTS

2 令和4年度
施政方針・予算

特集

- 8 グリーン・ツーリズム
- 10 18歳から大人
- 11 地域防災の要 消防団
- 12 Nagayoの情報通
- 19 地域POWER
- 20 長与よかとこめぐり
- 21 子育てガイド
- 27 暮らしの情報
- 33 インフォメーション
(各種イベント・講座情報)
- 36 スポーツ広場
- 37 図書館だより
- 38 健康テラス
- 39 カレンダー
- 40 緊急連絡先
相談窓口

広報ながよは、
以下のコンテンツから
ご覧いただけます

マチイロ



nagasaki
e-books

マイ広報紙



新年度の

舵取り

令和4年度 施政方針

3月定例議会で、吉田町長が令和4年度の施政方針を説明しましたので、その主な内容についてご紹介します。
(全文は長与町ホームページに掲載しています。)



施政方針
QRコード



第10次総合計画に基づき「子育て」「教育」「健康づくり」そして「遊び心」の4つの視点を軸に、また、新たな取り組みにも着手し、「幸福度日本一のまち」をめざしてまいります。

総務部

▼行政改革・行政サービス
公文書管理システムを活用した公文書の電子化ならびに電子決裁を推進し、ペーパーレス化による経費削減と事務の効率化を図ります。また、更なる自治体DX推進のため新たな課を設置し、推進計画の策定ならびに定例業務を自動化するRPAを活用した事務の自動化や、行政手続きのオンライン化などを推進します。

▼財産管理

次世代社会を見据え、公用車に環境に配慮した電気自動車の導入を図ります。また、財産調達方法の見直しなどによる事務効率化と経費削減に努め、町が保有する低・未利用地の売却を検討するなど、自主財源の確保を図ります。

▼消防防災事業

地域防災力の充実強化を図るため、第4分団消防車の更新のほか、消防用備品の整備、団員の処遇改善を図ります。

▼自治会・地区コミュニティ活動

自治会や各地区コミュニティ活動を支援するとともに、活動への理解と加入・参加の促進を図るため、SNSなどを活用した情報発信に努めます。

▼交通安全対策

交通安全運動や参加体験型講習などを関係団体と連

携して実施し、交通マナーの向上と交通安全意識の高揚を図ります。

▼広報広聴

長与町公式ホームページ・公式SNSなどを活用し、正確で即時性のある情報発信に努めます。

企画財政部

▼男女共同参画の推進

男女の人権が尊重され、性別に関わりなく個性と能力が十分に発揮できる社会の実現に向け、次期男女共同参画計画を策定します。

▼複合施設の整備

図書館と健康センターの複合施設の整備に向けた基本計画の策定と設計業務の準備を進めます。

▼財政運営

限られた予算の中で一層充実した行政サービスを実施するため、職員一人一人が創意工夫し経費節減を図りながら、健全財政の堅持に努めます。

▼ご当地ナンバープレート

50cc以下の原動機付自転車のナンバープレートをミックンをモチーフにした遊び心のあるご当地ナンバーに変更し、町民の郷土愛を育み、町内外へ本町の魅力を発信します。

▼収納推進

法令に基づく専門的、かつ効率的な業務を推進するとともに、滞納要因に着目した生活再建型滞納整理を推進し、安定的な税収の確保に努めます。

住民福祉部

▼住民窓口

情報セキュリティ対策を徹

底し、丁寧で信頼される窓口サービスの提供を行うとともに、これからのデジタル社会への基盤となるマイナンバーカードの普及促進を図ります。

▼持続可能な生活環境

長崎市、時津町と共に策定する地球温暖化対策実行計画のもと町民や事業者と連携を図りながらカーボンニュートラルを進め、持続可能な生活環境づくりを進めます。

▼子育て支援

高田児童館では、おひさま広場と連携し、新たに乳幼児向け講座をメインとした運営を進めます。また病児保育の受け入れ年齢を小学3年生までに拡大するよう体制を整え、仕事と子育ての両立ができる取り組みの拡充を図ります。

▼母子事業

妊産婦が安心して出産などができるよう医療機関などとの連携体制を整備するとともに、産後うつ予防や早期発見、新生児への虐待予防などを行うため、新たに産婦健康診査に取り組み、健康診査費用を助成することで産後の母子支援を強化します。

▼地域福祉

福祉施策の基盤である第3次地域福祉計画に基づき、地域での複雑・複合的な課題に対応できるよう連携を強化し、一人ひとりが尊重される社会の実現に向けた取り組みを進めます。

▼障害者福祉

障がいのある人もない人もどのような立場にある人も、住み慣れた地域で「共に暮

らし、「社会に参加していく」ことができるよう、理解促進と環境づくりに努めます。

健康保険部

▼新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策を引き続き強化し、ワクチン接種を望む町民の方が速やかに接種できるよう推進します。

▼健康づくり

健康ポイント事業では、1か月間にわたるウォーキングイベントを年2回開催し、コロナ禍でも楽しめる飽きのこない仕組みづくりを進めるとともに、健康ポイント事業の卒業者が継続して健康づくりに取り組めるよう、民間活用を推し進めます。

▼国民健康保険

医療費の増加による保険税の負担増に繋がらないよう、特定健診の受診率向上のためのPRの強化や、後発医薬品の利用促進などに努めます。

▼介護保険

長与町老人福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組むとともに、地域の中で活動する担い手の育成や確保に努めます。

▼生活支援体制の整備

第1層協議体ならびに生活支援コーディネーターを中心に、第2層協議体の設置をはじめ、住民相互の支え合い体制の早期構築、取り組み強化を図ります。

建設産業部

▼農林水産

みかんの品質向上対策によるブランド化や優良品種への更新事業など継続した支援を行い、安心・安全な農産物の充実に向けた畑作物拡大事業、スマート農業普及のための環境整備など、各種事業を継続して実施します。

また、新たな取り組みとして豊かな自然を活用した農業体験・漁業体験などのグリーン・ツーリズムの推進により、生産者と体験者が直接交流する機会を設け、交流人口の拡大や農山村地域の活性化を図ります。

▼商工観光

町内事業者の経営安定と販売力向上に向けた販路開拓支援事業や、新たな創業に向けた創業塾の開催、チャレンジショップへの取り組み、企業立地促進など、引き続き西そのぎ商工会などと連携し事業を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業者支援や、ウィズコロナに対応した事業展開を図ります。

▼町道の維持管理

町道の計画的な舗装の補修・打ち替えを行います。また、長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の詳細点検・修繕を行い、維持管理コスト縮減に努めます。

▼公園

親子で遊べる施設となるよう充実を図るほか、利用者の安全確保やライフサイクルコスト縮減に向け、長与町公園施設長寿命化計画の改定を行います。

▼都市計画道路西高田線

高田踏切から和楽団地入口付近の道路拡幅工事、ならびに工事施工区間から役場方面に向けての用地購入および建物移転補償を進めます。

▼高田南土地区画整理事業

事業の早期完成に向けた残工事の一括施工が本格的に動き出し、令和7年3月末工事完成を目指して大規模な土工事、道路工事、宅地造成工事などを進めます。

教育委員会

▼教育環境の充実

長与第二中学校校舎屋上防水工事などの改修工事を行うほか、学校トイレの洋式化、教室のLED照明化など、学校施設の安全性、機能性、快適性の向上を図ります。

▼学校教育

すべての小中学校の普通教室に電子黒板を整備し、1人1台整備されたタブレット端末を活用し、Society5.0(※)の時代に向け、基礎的読解力や数学的思考力などの基礎的な学力や、情報活用能力の習得などを推進します。

▼生涯学習

「出会い」、「ふれあい」、「学びあい」をモットーに町民の皆さまが主体的に生涯学習に取り組めるよう、講座の充実と自主グループ活動の育成・支援に努めます。

▼新図書館

生涯学習の拠点となる場所、長与町のシンボルとなる場所として、町民が誇れ、誰からも愛される新図書館づくりに取り組みます。

▼文化芸術の振興

長与三彩関連遺構の発掘調査を行うと同時に、各種講座などを通じ文化財に関する理解と郷土愛の育成を図ります。

▼スポーツ振興

施設予約管理システムのオンライン化により窓口での手続きを不要とし、利用者の利便性の向上を図ります。また遊び心のあるまちづくりのひとつとして、大村湾を活用した海洋スポーツの企画・推進に努めます。

水道局

▼水道事業

第1浄水場の更新計画については、水道事業の基盤強化を図る一環として、広域連携推進の観点から、本町と長崎市の1市1町で事業化に向けた協議を継続します。新浄水場共同整備を推進することにより持続可能な水道事業の確立を目指します。

▼下水道事業

長与浄化センターにおいて、ストックマネジメント計画に基づいた施設の長寿命化を図るとともに、効率的・効果的な維持管理に努めます。また、県および市町などが連携し、持続可能な事業運営を確保するための広域化・共同化の取り組みについても推進します。

※Society5.0:「サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)」

令和4年度 今年の予算

問 財政課 ☎801-5783

令和4年度予算が町議会3月定例会で可決されました。

本年度の一般会計の予算は140億2,533万円で、昨年度より2.1%減少しました。

歳入のうち、自ら確保できる町税などの収入(自主財源)の割合を46%、国・県からの補助金、町債(町の借金)など、他に依存する収入(依存財源)の割合を54%と見込んでおり、昨年度よりも自主財源の割合が増加しているものの、町の収入の半分以上を国・県や借金などに頼らざるをえない状況となっています。

歳出では、福祉に係る経費である民生費の割合が41%と最も大きく、次いで土木費、総務費の順に大きくなっています。

令和3年度から5か年で始動した「長与町第10次総合計画」を指針として「子育て」「教育」「健康づくり」「遊び心」をテーマに掲げ、子育て支援体制の整備拡充、教育環境の整備などに重点的に予算を配分したほか、行政のデジタル化にも積極的に取り組みます。

一般会計

140億2,533万円

自主財源 46%
(昨年度比+3%)

依存財源 54%
(昨年度比△3%)

特別会計

特定の事業を行うため一般会計とは経理を別にして設けているもので、町には右の事業があります。

会計名	予算額
駐車場事業特別会計	688万円
土地区画整理事業特別会計	12億2,514万円
国民健康保険特別会計	41億2,134万円
後期高齢者医療特別会計	6億1,025万円
介護保険特別会計	
保険事業勘定	29億2,194万円
介護サービス事業勘定	3,151万円

企業会計

民間の事業と同じようにその事業によって得られる収入で支出をまかなう独立採算を原則としていて、町には水道事業と下水道事業があります。

水道事業

	収入	支出
収益的収支 ※主に維持管理関係	8億1,902万円 (内料金 7億1,104万円)	7億2,774万円
資本的収支 ※主に設備投資関係	2億1,738万円	3億4,644万円

下水道事業

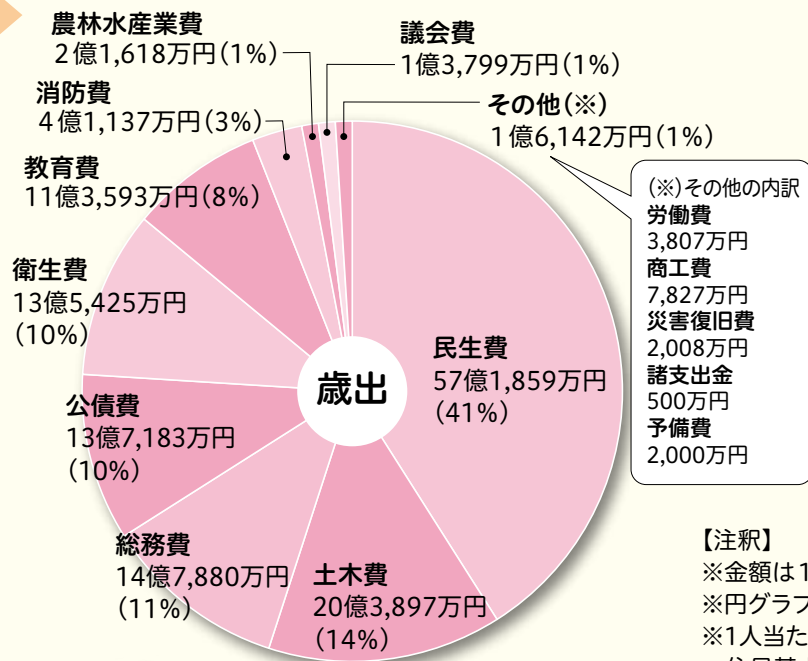
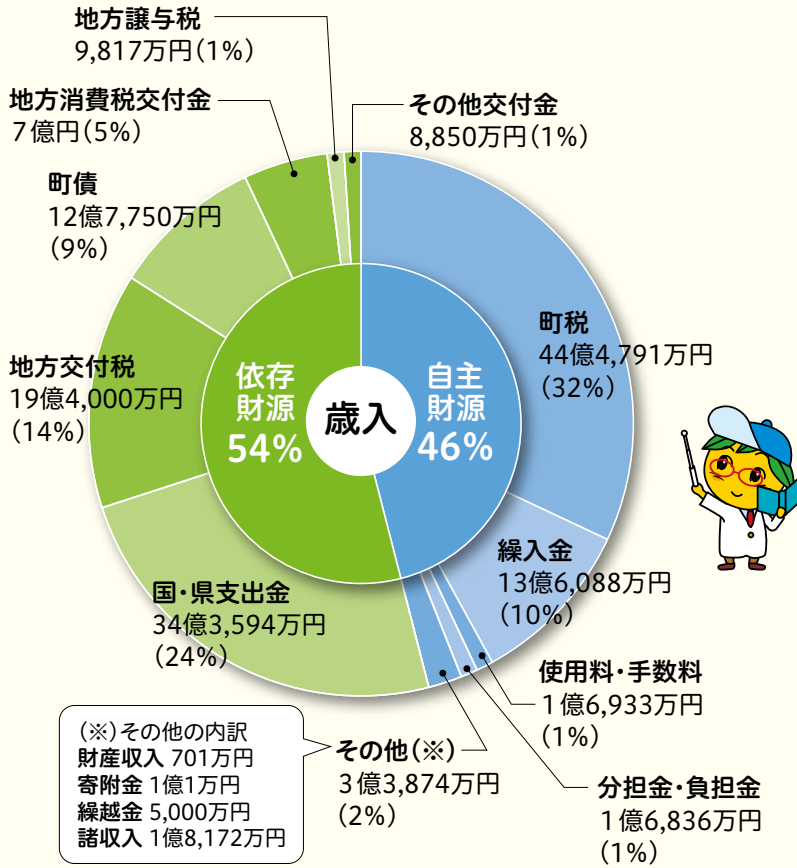
	収入	支出
収益的収支 ※主に維持管理関係	10億1,922万円 (内使用料 6億8,394万円)	9億3,464万円
資本的収支 ※主に設備投資関係	3億7,964万円	6億4,551万円

町税の内訳

種類	予算額	割合
町民税	22億9,876万円	16%
固定資産税	15億2,983万円	11%
都市計画税	2億9,897万円	2%
町たばこ税	2億 400万円	2%
軽自動車税	1億1,630万円	1%
入湯税	5万円	-

町税	町が課税し徴収する税金
地方交付税	全国の市町村が同水準の行政事務を行えるよう国から交付されるお金
国・県支出金	国や県からの補助金や委託金
分担金・負担金	町の事業に対し利益を受ける人などから徴収するお金
繰入金	基金(町の貯金)の取崩しや他会計から受け入れる資金
町債	町の借入金

議会費	議会運営費など
総務費	選挙、戸籍、徴税、広報、統計、監査費など
民生費	社会福祉、児童福祉、保育所、老人福祉費など
衛生費	健康増進、環境衛生、ごみ関係経費など
農林水産業費	農業委員会、農業振興、林業、水産業費など
土木費	道路、河川、港湾、都市計画、住宅経費など
消防費	消防、防災対策経費など
教育費	小学校、中学校、生涯学習、スポーツ関係経費など
公債費	町の借入金の返済



【注釈】

※金額は1万円未満を端数処理しています。
 ※円グラフの()は全体に対する割合です。
 ※1人当たりの町税負担額および支出額は令和4年2月末現在の住民基本台帳人口(40,793人)で計算しています。

